

事務事業評価表

施策名	1303	農地の保全と有効活用
-----	------	------------

【事業類型】	【事業概要シート作成有無】	【事務事業評価の視点】
1 職員人件費のみの事業 2 国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務） 3 負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く） 4 組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など） 5 施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料） 6 施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託） 7 課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成） 8 団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。 9 ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業 10 ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外） 11 ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）		妥当性（市の関与） a…市が実施することが妥当である b…見直す余地がある c…市が実施する緊急性が認められない 有効性（施策貢献度） a…施策への貢献度が高い b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない c…成果の向上が見込まれない 効率性（コスト） a…コストを見直す余地がない b…検討する余地がある
		＜総合評価＞ A…計画通りに事業を進めることが適当 B…事業の進め方の改善検討 C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額																								
N0	事業名	担当課	事業内容	事業期間		根拠法令 要綱等	事業 類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円）			人件費（千円）		主な指標	単位	R 5		R 6	R 7	事業の方向性	概要 シート
		課長		開始	終了							R 5	R 6	R 7	R 5	R 6			計画	実績	計画	計画		
1	多面的機能支払交付金事業	農林水産整備課	農地が持つ多面的機能を維持・保全するために活動する組織（農業者・地域住民等）に対し、交付金を交付する。 活動内容：水路や畦畔等の長寿命化対策（補修、泥上げ及び草刈り等）	平成24年度	令和10年度		8	a	a	a	A	12,592	14,759	13,389	2,503	3,615	活動組織数	組織	13	13	13	13	現状維持	無
		山本 雅喜						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		原 龍之介																						
2	中山間地域等 直接支払制度事業	農林水産振興課	農道・水路の維持管理、周辺林地の管理、景観作物の作付、集落戦略の作成などに取組む集落に対し、交付金を交付する。あわせて、加算措置として超急傾斜農地保全管理・集落協定広域化・生産性向上加算等に取り組む集落に対し交付金を交付する。	令和2年度	令和6年度	大村市農業基本計画 中山間地域等直接支払交付金交付要綱	8	a	a	a	A	62,075	62,604	66,524	6,475	6,162	対象農用地面積	ha	296	295	295	294	現状維持	無
		岩永 太						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		恒石 智美																						
3	有害鳥獣駆除事業	農林水産振興課	大村猟友会の有害鳥獣捕獲従事者が捕獲したイノシシやアナグマ、アライグマ、カラスに対し捕獲報奨金を交付する。また、捕獲体制の推進を目的として捕獲に関する講習会の開催及び捕獲器の購入を行い、体制の一層の推進を図る。	平成23年度		大村市農業基本計画 大村市農林水産振興事業費補助金交付要綱	8	a	a	a	A	7,814	15,765	16,999	3,239	3,247	有害鳥獣による農業被害額	千円／年	3,900	3,859	4,082	3,686	現状維持	無
		岩永 太						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		後田 拓弥																						
4	鳥獣被害対策地域 アドバイザー事業	農林水産振興課	狩猟や鳥獣の捕獲に関する専門的な知識や技術を有する人員を配置し、農作物被害対策の研修会等の開催や被害状況の実態把握や指導などを行い、鳥獣被害対策の強化を図る。	平成25年度		大村市農業基本計画	8	a	a	a	A	14,709	18,444	19,056	3,175	3,167	地域アドバイザー活動日数	日数／人	243	243	243	242	現状維持	無
		岩永 太						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		後田 拓弥																						
5	鳥獣被害防止対策事業	農林水産振興課	農地や農作物に被害を与えるイノシシ等の有害鳥獣の侵入を防止するために、農地の周辺に侵入防止柵を設置し農作物被害対策を行う。	平成18年度		大村市農業基本計画 大村市農林水産振興事業費補助金交付要綱	8	a	a	a	A	12,870	14,282	13,802	3,718	3,790	農地内のイノシシ侵入防止面積	ha	50	29	50	37	現状維持	無
		岩永 太						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		後田 拓弥																						
6	農業施設安全対策事業	農林水産整備課	1）市有ため池侵入防止柵設置 29か所（10カ年整備） 2）農道反射鏡設置 5か所（毎年実施）	平成24年度			9	a	a	a	A	4,318	2,550	2,800	1,527	2,334	ため池の水難事故防止施設整備箇所	箇所	2	1	2	2	現状維持	無
		山本 雅喜						妥当	貢献度高	余地なし	事業推進													
		原 龍之介																						
7	農業施設維持管理事業	農林水産整備課	市有ため池の補修、水路の補修、防災ダムの維持管理を行う。				6			a	A	22,094	29,283	126,608	1,527	2,071	修繕件数	箇所	6	14	6	6	現状維持	無
		山本 雅喜						余地なし	事業推進															
		石丸 凌輔																						
8	農業施設整備事業	農林水産整備課	地元受益農家からの申請分について審査を行い、順次施工するもので、農業用排水路の改修や農道の舗装及び改良を行う。地元負担・水路45%、舗装35%、改良35%			大村市営農林業施設整備事業施行に関する規則	6			a	A	22,882	40,000	132,500	2,143	7,168	整備件数	箇所	10	14	6	6	現状維持	無
		山本 雅喜						余地なし	事業推進															
		石丸 凌輔																						

施策名	1303	農地の保全と有効活用
-----	------	------------

【事業類型】 1 職員人件費のみの事業 2 国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務） 3 負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く） 4 組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議世事務など） 5 施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料） 6 施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託） 7 課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成） 8 団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。 9 ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業 10 ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外） 11 ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）	【事業概要シート作成有無】 新規・拡充・その他の見直し NO 事業概要シート【不要】 YES 事業概要シート【必要】	【事務事業評価の視点】 妥当性（市の関与） a…市が実施することが妥当である b…見直す余地がある c…市が実施する緊急性が認められない 有効性（施策貢献度） a…施策への貢献度が高い b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない c…成果の向上が見込まれない 効率性（コスト） a…コストを見直す余地がない b…検討する余地がある ＜総合評価＞ A…計画通りに事業を進めることが適当 B…事業の進め方の改善検討 C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
--	--	--

NO	事業名	担当課	事業内容	事業期間		根拠法令 要綱等	事業 類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円）			人件費（千円）		主な指標	単位	R 5		R 6	R 7	事業の方向性	概要 シート
		課長		開始	終了							R 5	R 6	R 7	R 5	R 6			計画	実績	計画	計画		
		担当者										決算	予算	見込	決算	予算								
17	農村地域防災減災事業 （姥ノ懐ため池）	農林水産整備課 山本 雅喜 石丸 凌輔	老朽化によって堤体決壊の恐れがあるため池を改修し、災害を未然に防ぐことにより、農業生産基盤と農村住民の生命・財産を守る。 姥ノ懐ため池改修工事 堤体改修 1式 L=121.0m ・調査計画事業 ・計画更新作業 ・対策工事	令和3年度	令和9年度	農村地域防災減災事業実施要綱	3	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	1,650	880	550	800	840	整備事業進捗率	%	4.5	2.8	4.1	4.9	現状維持	無
18												0	0	0	0	0								
19												0	0	0	0	0								
20												0	0	0	0	0								
21												0	0	0	0	0								
22												0	0	0	0	0								
23												0	0	0	0	0								
24												0	0	0	0	0								